

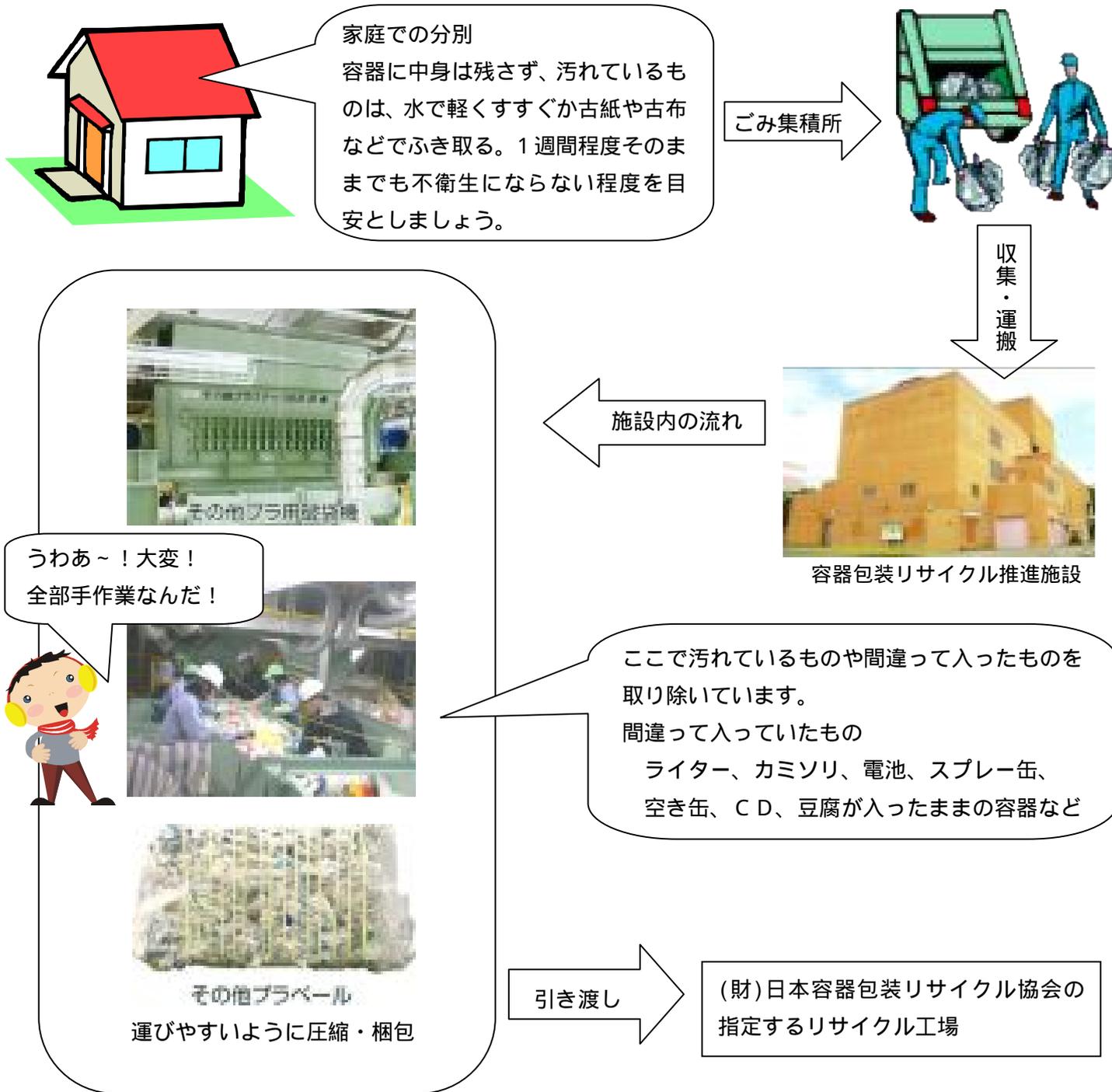
めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243
E-mail miraikenshiwa-mirai.com

プラ容器がリサイクル協会に行くまで

紫波町では、今年の8月から紙製・プラスチック製容器包装の分別収集が、町内全域で実施されました。5か月が経過し、実際に分別をしている住民に聞くと「大変！」という答えが返ってきます。そこで「めぐりっと紫波」では、生活環境の中の困ったを解消するために、今後「環境一口メモ」を掲載していくことにしました。今回は、日ごろ集めているプラスチック製容器がどのように収集され、どのような流れでリサイクル協会に引き渡されるのか図にしてみました。

来月からは、ごみ分別についての「一口メモ」を掲載します。ご質問もお待ちしています。

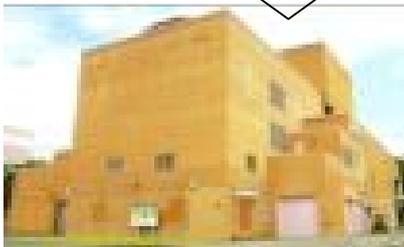


うわあ～！大変！
全部手作業なんだ！



その他プラベール
運びやすいように圧縮・梱包

施設内の流れ



容器包装リサイクル推進施設

ここで汚れているものや間違っって入ったものを取り除いています。
間違っって入っていたもの
ライター、カミソリ、電池、スプレー缶、
空き缶、CD、豆腐が入ったままの容器など

引き渡し

(財)日本容器包装リサイクル協会の
指定するリサイクル工場

おじゃまします！～判官堂を守る会～

「判官堂を守る会」は、赤沢地区で“義経神社”を代々管理してきた別当(屋号判官堂)をみんなで支え、平泉関連史跡として守っていこうと、平成20年に結成されたそうです。代表の池田毅さんは、「活動としては主に、お社回りの管理や整備が中心ですが、何か大きなことをやる時は、地域全体で協力してやっています」と話されていました。

早速21年には大分腐朽が進んでいた鳥居を建て替え、22年には覆い堂を改修するなど、大きな仕事を地域ぐるみで行ってきたそうです。

最近では今までになく観光客がたくさん訪れるようになり驚いていますと話される池田さん「バスやグループでおいでの際は、観光ボランティア・しゃ・べるさんが案内してくれるので安心ですが

個人的に来た人には、私らが地名など説明することもありますので、不十分だとは思いますが、勉強しながらがんばっていきたい」「町内のほかの関連史跡と連携を図っている協議会さんには大変お世話になっています」などと話されました。

平泉の世界遺産登録を目前に控え、紫波町内に数多く残る関連史跡の重要性が再認識されつつありますが、中でも“赤沢の義経滞伝説”は多くの人に歴史ロマンを感じさせます。義経のひよどり越えの訓練の場となったと言われる鐙越(あぶみごし)弓矢の訓練の場所といわれる的場や矢島などの地名が残ることから、現代の我々にわくわく感を与えてくれる貴重な存在です。地域の宝として今後も大切に守って行って欲しいですね。



～わたしのひとこと～

小田中 耕一さん(上平沢在住)

50才からの夜のウォーキング。

雨ニモマケズ、風ニモマケス、月10回程度。

なぜか体重だけは飽きずに毎日チェック。

コースはいつも通り、自宅から出入1時間、6km。

春は夜桜、夏蛍、秋は虫の音、冬雪明かり。

ビーチ・ボーイズ、ネーネーズ。

ボブ・マーリーにジョン・レノン。で時々落語。

荘か気分の道々、懐中電灯に照らされた季節お構いなしのポイ捨て。

コーヒーの空缶、御丁寧に袋にまとめた車内のごみ、煙草の空き箱、吸殻、果ては有ろう事か火の着いた煙草までも・・・腹が立ってきました。

祖先は素晴らしい物を残してくれているのに、子々

孫々はガラクタしか披露できないのではと心配しながら拾いました。

ともあれ細やかなメタボ対策程度に始めて早10年。これからも相変わらず気ままに歩こうと思います。ホメラレモセズ、クニモサレズ、ゴミゼロヲネガイ。



イベント情報！

まちの財政白書報告会

「^{まち}紫波町の財政はどうなっているの？」

日時：平成23年1月23日(日)10時～15時

場所：サンビレッジ紫波 会議室

講師：大和田 一紘氏(多摩住民自治研究所 理事長)

参加費：500円(他に財政白書代金 1,000円)

その他：昼食は各自持参願います。

主催：しわの財政白書をつくる会

連絡先：鷹木 090-2600-0358

2011 紫波冬まつり

日時：平成23年1月29日(土)11時～21時

場所：ラ・フランス温泉館周辺

内容：屋台、夢灯り、冬花火、寒中みこしなど

連絡：紫波町観光交流協会

676-4477

「めぐりつと紫波」は、紫波町環境課からの委託事業で発行しています。